

2025年度 教育計画

| | | | | |
|-------|---|------------|------|------|
| 教科 | 芸術科 | 単位数 | 前期 I | 後期 I |
| 科目 | 書道 II | スクーリング(時間) | 前期 4 | 後期 4 |
| 科目的目標 | 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。 ①書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、書の伝統に基づき表現するための技能を身につける。 ②書の美しさを感じ、個性豊かな表現を工夫したり、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉える。 ③生涯にわたり書を愛好する心情を育み、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 | | | |
| 教科書 | 高等学校 書道 II (東京書籍701) | 学習書 | なし | |
| 副教材 | なし | その他教材 | 書道道具 | |

| 学期 | 月 | 項目 | 内 容 | スクーリング | | | | テスト | レポート | |
|----|----|------------------|--|--------|----|----|----|-----|------|---|
| | | | | 本校 | 都城 | 小林 | 日南 | | 回数 | 日 |
| 前期 | 4 | 漢字の書① (篆書・隸書) | 書道 I で学習した漢字の書体の成立を踏まえて、各書体の特徴や成立と変遷について理解する。多様な表現を鑑賞し、理解を深める。古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び臨書する。 | 20 | | 27 | | 第1回 | 21 | |
| | 5 | 漢字の書② (草書) | 書道 I の草書の学習を踏まえて、草書の特徴や成立と変遷について理解する。個性的で多様な表現を鑑賞し、理解を深める。草書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び臨書する。 | 4 | 11 | | 11 | | | |
| | 6 | 漢字の書③ (楷書・行書) | 書道 I の楷書・行書の学習を踏まえて、各書体の特徴や成立と変遷について理解する。個性的で多様な表現を鑑賞し、その美について理解を深める。古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び臨書する。 | 12 | | | | 第2回 | 18 | |
| | 7 | | | 9 | 8 | 8 | 8 | | | |
| | 8 | | | 23 | 22 | | | 第3回 | 23 | |
| 後期 | 9 | 仮名の書① (仮名古筆) | 書道 I の学習を踏まえて、平安時代の代表的な古筆や多様な表現の古筆を鑑賞し、仮名表現について理解を深める。仮名の古筆の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。 | 13 | 6 | 6 | 20 | | | |
| | 10 | 仮名の書② (散らし書き) | 仮名の古筆を鑑賞し、行書きと散らし書きの美について理解を深める。書道 I の学習を踏まえて、行書きと散らし書きの基本的技法を確かめる。行書きや散らし書きの変化の付け方を理解する。 | 20 | 19 | | 5 | 第1回 | 22 | |
| | 11 | 漢字仮名交じりの書 | 古典や古筆の特徴を生かして、漢字と仮名を調和させたり構成を工夫したりして書き、漢字と仮名の調和する表現を理解する。書体・書風や用具・用材の工夫による表現の効果について理解し、自分の意図に応じた表現を工夫し技能を身に付ける。文字の大きさや配列など紙面構成を工夫し表現の変化の効果を理解する。 | 3 | 2 | 2 | 16 | | | |
| | 12 | | | 9 | | | | 第2回 | 19 | |
| | 1 | | | 23 | | 30 | | | | |
| | 2 | | | 15 | 14 | | | 4 | 第3回 | 7 |
| | 3 | | | | | | | | | |